

柏崎 秀明	豊玉香料株式会社
嘉屋 和史	株式会社昭和農芸
齊藤 憲二	小川香料株式会社
佐藤 修司	(クエスト・インターナショナル・ジャパン株式会社)
渋谷 次郎	塩野香料株式会社
杉沢 義夫	アイ・エフ・エフ日本株式会社
鈴木 潤	曾田香料株式会社
関谷 史子	高砂香料工業株式会社
土屋 一行	ジボダン ジャパン株式会社
所 一彦	高砂香料工業株式会社
中村 幸彦	長谷川香料株式会社
仁井 皓迪	長岡香料株式会社
西 久人	日本フィルメニッヒ株式会社
野坂 昭夫	稲畑香料株式会社
野崎 忠	株式会社井上香料製造所
東仲 隆治	日本香料薬品株式会社
深谷 摂	高砂香料工業株式会社
福本 隆行	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
藤田 宗嗣	小川香料株式会社
松井 敏晃	アイ・エフ・エフ日本株式会社
彌勒地 義治	理研香料工業株式会社
山本 隆志	小川香料株式会社
吉川 宏	塩野香料株式会社
和田 昭	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
渡邊 武俊	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
今野 忠彦	日本香料工業会
長野 健一	日本香料工業会
別井 弘始	日本香料工業会
丸山 進平	日本香料工業会
河内 龍二郎	日本香料工業会

F. 健康危機管理情報

消費者或いは利用者に健康危害の懸念のない安全と安心を担保するため、本研究で得られた結果は大きく寄与するものとする。

添 付 資 料

資料－1

天然香料基原物質データベース

資料－2

生理活性物質の許容量（最終製品中）

資料－3

Licorice 及び Licoric derivatives の食品に対する使用

[CFR(FDA) 184.1408]

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
	○					アイスランドモス	Iceland moss	アイスランド苔		ウメノキゴケ科の <i>Cetralia islandica</i> Acharius	
	○					アカヤジオウ	Akayajio		サオヒメ	ゴマノハグサ科のアカヤジオウ <i>Rehmannia glutinosa</i> Liboschitz var. <i>lutea</i> Makino forma <i>purpurea</i> Makino 又はその他の <i>Rehmannia</i> 属	<i>R. glutinosa</i> は、ジオウ又はサオヒメとも呼ばれる。
	○				○	アケビ	Akebia			ミツバアケビ <i>Akebia quinata</i> Decaisne、ミツバアケビ <i>A. trifoliata</i> Koidzumi 又はゴヨウアケビ <i>A. pentaphylla</i> Makino など	<i>A. quinata</i> はアケビカズラとも呼ばれる。
	○				△	アサ	Hemp	麻	タイマ	イラクサ科のアサ <i>Cannabis sativa</i> Linne	<i>C. sativa</i> はタイマとも呼ばれる。
	○					アサフェチダ	Asafetida			セリ科の <i>Ferula asa-foetida</i> Linne 又はその他の <i>Ferula</i> 属	
	○					アジアンタム	Maidenhair fern		ホウライシダ	ウラボシ科のホウライシダ <i>Adiantum capillus-veneris</i> Linne	<i>A. capillus-veneris</i> は Maiden hair fern 又は Venus hair とも呼ばれる。
	○					アジョワン	Ajowan			セリ科の <i>Trachyspermum ammi</i> Sprague (= <i>Ammi copticum</i> Linne; <i>Carum copticum</i> (Linne) Benth & Hooker f.) 又は <i>Carum roxburghianum</i> Benth & Hooker f. (= <i>T. involucreatum</i> (Roxburgh) Maire)	<i>T. ammi</i> は Ajowan 又は Ammi とも呼ばれる。
マメ	○				○	アズキ	Red beans	小豆	ショウズ	マメ科のアズキ <i>Vigna angularis</i> Ohwi et Ohashi var. <i>angularis</i> (= <i>Azuki</i> <i>angularis</i> Ohwi; <i>Phaseolus angularis</i> (Willdenow) Wight) 又はその他の <i>Vigna</i> 属など	<i>V. angularis</i> はショウズとも呼ばれる。
	○				△	アスパラサスリネアリス	Rooibos	ルイボス、ロオイボス	レッドブッシュルイボッシュルイボッシュティー	マメ科のルイボス <i>Aspalathus linearis</i> (Burman) R. Dachar	<i>A. linearis</i> はレッドブッシュ、ルイボッシュ又はルイボッシュティーとも呼ばれる。
	○				△	アップルミント	Apple mint		マルバハッカラウンドリーブミント	シソ科のアップルミント <i>Mentha rotundifolia</i> Hudson	<i>M. rotundifolia</i> はマルバハッカ、ラウンドリーブミントとも呼ばれる。
	○				○	アーティチョーク	Artichoke	チョウセンアザミ	カルドン	キク科のチョウセンアザミ <i>Cynara scolymus</i> Linne 又はカルドン <i>C. cardunculus</i> Linne	<i>C. scolymus</i> は Artichoke 又は Globe artichoke と呼ばれ、 <i>C. cardunculus</i> は Cardoon と呼ばれる。
	○				△	アニス	Anise			セリ科のアニス <i>Pimpinella anisum</i> Linne	<i>P. anisum</i> の果実(種子)は Aniseed と呼ばれる。
	○				○	アボカド	Avocado		ワニナシアボカド	クスノキ科のアボカド <i>Persea americana</i> Miller (= <i>P. gratissima</i> Gaertner; <i>Laurus persea</i> Linne) 又はその変種	<i>P. americana</i> はワニナシ、Alligator Pear 又は Butter Fruit と呼ばれる。
	○					アマ	Flax		ヌメゴマアマシ/アマニン/アマニ油	アマ科の <i>Linum usitatissimum</i> Linne 又は <i>Linum catharticum</i>	<i>L. usitatissimum</i> はヌメゴマ、Flax 又は Linseed と呼ばれる。
	○				△	アマチャ	Amacha	甘茶		ユキノシタ科のアマチャ <i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunberg) Seringe	
	○				△	アマチャヅル	Amachazuru		コウコラン	ブドウ科のアマチャヅル <i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino	
	○					アミガサユリ	Amigasayuri			ユリ科のバイモ <i>Fritillaria verticillata</i> Willdenow var. <i>thunbergii</i> Baker (= <i>F. thunbergii</i> Miquel)	
	○					アミス	Amyris			ミカン科の <i>Amyris balsamifera</i> Linne	<i>A. balsamifera</i> は West Indian sandalwood と呼ばれる。

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
	172.510: Iceland moss	121: Iceland moss		(2): CFR(FDA)ではIceland mossの使用をアルコール性飲料のみに制限している。				
						茎と根は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ジオウ/アカヤ ジオウ/カイケ イジオウ	
						つる性の茎は成分本質(原材料)が専ら医薬品	モクツウ/アケ ビ/ツウソウ	
本項の基原植物の分類については、引用文献によってその科名に違いがみられる。					葉には麻酔性があるので注意が必要である。	発芽防止処理されていない種子は成分本質(原材料)が専ら医薬品	マシニン/アサ	
	182.20: Asafoetida	196: Asafoetida gum	2106: Asafetida fluid extract 2107: Asafetida gum 2108: Asafetida oil					
	172.510: Maidenhair fern	14: Venus hair		(2): CFR(FDA)では Maidenhair fern の使用をアルコール性飲料用のみに制限している。				
		111: Ajowan						
								ルチン(抽出物)[アズキ全草抽出物](酸化防止剤、着色料)、アズキ色素(着色料)
ハーブティーの一種で、欧米でも「健康茶」として飲用される。								
	172.510: Artichoke leaves	168: Cardoon 168A: Artichoke		(2): CFR(FDA)では Artichoke leaves の使用をアルコール性飲料のみに制限している。				
	182.10: Anise 182.20: Anise	336: Anise	2093: Anise 2094: Anise Oil					
		325: Avocado						
		263: Linseed						アマシードガム(増粘安定剤)
本項の基原物質の分類については、引用文献によってその学名に違いがみられる。牧野図鑑ではアジサイに同じ学名が当てられている。								アマチャ抽出物(甘味料)
本項の基原植物の分類については、引用文献によってその科名に違いがみられる。								
						鱗莖は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ハイモ/アミガ サユリ	
	172.510: Amyris (West Indian sandalwood)	33: West Indian sandalwood						

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
ナッツ						アーモンド	Almond			バラ科のアーモンド <i>Prunus amygdalis</i> Batsch (= <i>Amygdalus communis</i> Linne ; <i>A. dulcis</i> Miller) 又はその他 <i>Prunus</i> 属種	<i>P. amygdalis</i> はハダシキョウ 又はヘントウとも呼ばれる。
	○					アリタソウ	Aritaso			シソ科のアリタソウ <i>Nepeta japonica</i> Maximowicz (= <i>Schizonepeta tenuifolia</i> (Benth.) Briquet var. <i>japonica</i> (Maximowicz) Kitagawa)、アカザ科のケアリタソウ <i>Chenopodium ambrosioides</i> Linne (= <i>Ambrina ambrosioides</i> (Linne) Spach)	<i>N. japonica</i> はケイガイとも呼ばれる。 <i>C. ambrosioides</i> は Mexican tea 又は Wormwood とも呼ばれる。
	○					アルカンナ	Alkanet			ムラサキ科のアルカナ <i>Anchusa officinalis</i> Linne (= <i>Alkanna tinctoria</i> (Linne) Tausch)	<i>A. officinalis</i> は Alkanna とも呼ばれる。
	○					アルテミシア	Artemisia		サバクヨモギ	キク科の <i>Artemisia abrotanum</i> Linne、又はその他 <i>Artemisia</i> 属植物	<i>A. abrotanum</i> は Southern wood とも呼ばれる。
	○					アルニカ	Arnica			キク科のアルニカ <i>Arnica montana</i> Linne (= <i>Doronicum oppositifolium</i>), <i>A. fulgens</i> Pursh (= <i>A. pedunculata</i> Rydberg; <i>A. monocephala</i> Rydberg) 又は <i>A. sororia</i> Greene	<i>A. montana</i> は Mountain arnica 又は Mountain tobacco とも呼ばれる。
	○				○	アルファルファ	Alfalfa		ウマゴヤシ ムラサキウマゴヤシ モクシュク	マメ科のムラサキウマゴヤシ <i>Medicago sativa</i> Linne	<i>M. sativa</i> はモクシュク、Lucerna 又は Blue alfalfa とも呼ばれる。
	○				○	アロエ	Aloe		アロエベラ バルバドスアロエ キュラソーアロエ	ユリ科のバルバドスアロエ <i>Aloe vera</i> Linne (= <i>A. barbadensis</i> Miller) 又はその他アロエ属	<i>Aloe vera</i> はキュラソーアロエ、True aloe 又は Barbados aloe とも呼ばれる。
	○					アロニア	Chokeberry			バラ科の <i>Aronia arbutifolia</i> Linne (= <i>Pyrus arbutifolia</i> Linne) 又は <i>A. melanocarpa</i>	<i>A. arbutifolia</i> は Red chokeberry と呼ばれる。
	○					アンゴスツラ	Angostura			ミカン科の <i>Galipea officinalis</i> Hancock (= <i>Cusparia febrifugia</i> Humboldt) など	<i>G. officinalis</i> は <i>Cusparia</i> と呼ばれる。
	○					アンゴラウィード	Angola weed		リトマスゴケ	地衣類のリトマスゴケ科のリトマスゴケ <i>Roccella tinctoria</i> de Candolle 又は <i>R. fuciformis</i> Acharius	<i>R. tinctoria</i> は Orseille, Vulparaiso weed 又は Litmus と呼ばれ、 <i>R. fuciformis</i> は Angola weed とも呼ばれる。

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
アーモンドの植物的分類は複雑であり、多くの変種、栽培種があるが、実用的にはスイートアーモンド(甘扁桃)とビターアーモンド(苦扁桃)とが著名である。	182.20: Almond, bitter (free from prussic acid)	366: Bitter almond 367: Sweet almond tree	2046: Almond oil bitter	(1):アーモンドには青酸が含有されることがあるので資料2を参照。 (2):CFR(FDA)では"Almond, bitter"の精油などに青酸が検出されてはならないと規制している。				
						全草は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ケイガイ	
		22: Alkanet, Dyer's alkanet						アルカネット色素(着色料)
原料の項に挙げたその他近縁植物としてはA.frigida Willdenow:マンジュウアサギリソウ、Mountainsage、Fringed worm-wood A. gracialis Linne、A. capillaris Thunberg (=A. scoparia Waldsteine et Kitaibel): カワラヨモギ、ハマヨモギ、Rumputroman A. campestris: Field Southernwood、A. mutellina: Alpine wormwood などがある。なお、その他 Artemisia 属の中で別掲のタラゴン、ダバナ、マダウオルト、ワームウッド、ワームシードに該当するものを除く。	172.510: Artemisia (wormwood)	60: Southernwood 62: Field Southernwood 65: Mountain sage 68: Alpine wormwood 71A: Artemisia glacialis L.: Southernwood 62: Field Southernwood 65: Mountain sage 68: Alpine wormwood 71A: Artemisia glacialis L.		(1): Artemisia 属植物には Thujones (α and β) が含有されることがあるので、資料2を参照。 (2): 留意事項 CFR(FDA) では Artemisia (wormwood) の使用について最終食品中に Thujone が検出されてはならないと規制している。				サバクヨモギシードガム(製造用剤、増粘安定剤)
	172.510: Arnica flowers	59: Arnica		(2): CFR(FDA) では Arnica flowers の使用をアルコール性飲料用のみに制限している。		全草は成分本質(原材料)が専ら医薬品	アルニカ	
	182.10: Alfalfa herb and seed 182.20: Alfalfa	274: Heart trefoil; Lucerne	2013: Alfalfa extract					
アロエ属には上掲の植物の他に A. perryi Baker: ソコトラアロエ、Socotorine aloe、A. ferox Miller 上記基原植物と A. africana Miller、及び A. spicata Baker の交配種などがある。本項の原料から別掲のキダチアロエを除く。	172.510: Aloe	28: Aloes	2047: Aloe extract	(1): アロエには Aloin が含有されるので、資料2を参照。		葉の液汁は成分本質(原材料)が専ら医薬品	アロエ/キュラソー・アロエ/ケープ・アロエ	アロエベア抽出物(増粘安定剤)
本項の基原植物の分類については、引用文献によってその学名に違いがみられる。								
	182.10: Angostura (cusparia bark) 182.20: Angostura (cusparia bark)	165: Angostura	2092: Angostura extract					
	172.510: Angola weed			(2): CFR(FDA) では Angola weed の使用をアルコール性飲料用のみに制限している。				

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
						アンズ	Apricot	アプリコット	カラモモ	バラ科のアンズ <i>Prunus armeniaca</i> Linne (=Armeniaca vulgaris Lamarck). 又は <i>P. armeniaca</i> var. <i>ansu</i> Maximowicz など	<i>P. armeniaca</i> はカラモモとも呼ばれる。
キノコ					△	アンズタケ	Anzutake, Chanterelle			アンズタケ科のアンズタケ <i>Cantharellus cibarius</i> Fr.	
						アンゼリカ	Angelica	アングリカ ノダケ ガーデンアンゼリカ		セリ科のアンゼリカ <i>Angelica archangelica</i> Linne (=Archangelica officinalis Hoffmann), <i>Angelica silvestris</i> Linne, ノダケ <i>A. decursiva</i> Franchet et Savatier 又はその他 <i>Angelica</i> 属	<i>A. silvestris</i> は、Woodland angelica 又は Wild angelica とも呼ばれる。
						アンバー	Amber			マツ科の <i>Pinus succinifera</i> Conev.	
						アンバークリス	Ambergris	竜涎香		マッコウクジラ科のマッコウクジラ <i>Physeter macrocephalus</i> Linne(=P. catodon)	
						アンブレット	Ambrette		リュウキュウトロアオイ トロアオイモドキ ジャコウアオイ	アオイ科のリュウキュウトロアオイ <i>Abelmoschus moschatus</i> Moench (=Hibiscus abelmoschus Linne)	<i>A. moschatus</i> はトロアオイモドキ、ジャコウアオイ、Musk mallow とも呼ばれる。
水産物						イカ	Squid	スルメ ヤリイカ モンゴウイカ コウイカ		ジンドウイカ科のヤリイカ <i>Doryteuthis bleeker</i> (Kerferstein), <i>Loligo vulgaris</i> など、アカイカ科の <i>Todarodes pacificus</i> Steestrup など、コウイカ科のモンゴウイカ <i>Sepia officinalis</i> 、コウイカ <i>Sepia esculenta</i> Hoyle などの食用イカ	
						イカリソウ	Ikariso			メギ科のイカリソウ <i>Epimedium grandiflorum</i> Morren et Decaisne 又はその他 <i>Epimedium</i> 属	
						イグサ	Rush		コヒゲ	イグサ科のイグサ <i>Juncus effusus</i> Linne var. <i>decipiens</i> Buchenau 又は栽培種コヒゲ <i>J. effusus</i> Linne var. <i>decipiens</i> Buchenau forma <i>utilis</i> Makino	<i>J. effusus</i> L. var <i>dec piens</i> Buchen. は イ又はトウシンソウとも呼ばれる。
						イースト	Yeasts	酵母	トルラ酵母 ビール酵母	酵母 <i>Saccharomyces cerevisiae</i>	
						イタドリ	Itadori			タデ科のイタドリ <i>Reynoutria japonica</i> Houttuyn (=Polygonum cuspidatum Siebold et Zuccarini ; <i>Pleuropterus cuspidatus</i> (Siebold et Zuccarini) Gross) 又はオオイタドリ <i>R. sachalinensis</i> Nakai (=Polygonum sachalinense Fr. Schmidt) など	
						イチゴ	Strawberry	ストロベリー	エゾヘビイチゴ	バラ科の <i>Fragaria virginiana</i> Duch., <i>F. chiloensis</i> (Linne) Duch., エゾヘビイチゴ <i>F. vesca</i> Linne 及びそれらの交配種	
					△	イチゴノキ	Strawberry tree	ストロベリーツリー		ツツジ科のイチゴノキ <i>Arbutus unedo</i> Linne	<i>A. unedo</i> は Cane apple tree とも呼ばれる。
						イチジク	Fig	フィグ		クワ科のイチジク <i>Ficus carica</i> Linne	<i>F. carica</i> は Fig tree と呼ばれる。
						イチョウ	Ginkgo, Gingko		ギンナン ハクカ	イチョウ科のイチョウ <i>Ginkgo biloba</i> Linne	

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
	182.20: Almond bitter 182.40: Apricot kernel (persic oil)	368: Apricot	2105: Apricot kernel oil	(1): アンズの仁には青酸が含有されるので、資料2を参照。 (2): CFR (FDA) 182.20 では "Almond, bitter" という一般名の下に P. armeniaca が挙げられており、精油などの中に青酸が検出されてはならないと規制している。 CFR (FDA) 182.40 及び FEMA 2105 では "Apricot kernel (persic oil)" が指定されている。		種子は成分本質(原材料)が専ら医薬品	キョウニン/アンズ/クキョウニン/ホンアン	
本項から別掲のトウキ、ヨロイグサ、ロベージに該当するものは除く。	182.10: Angelica; Angelica root; Angelica seed 182.20: Angelica root; Angelica seed; Angelica stem	43: Wild angelica 56: Angelica	2087: Angelica root extract 2088: Angelica root oil 2089: Angelica seed extract 2090: Angelica seed oil 2091: Angelica stem oil					
アンバー(コハク)は数百万年前マツ科の Pinus succinifera から分泌された樹脂が堅く化石化したもので、バルト海沿岸からポーランド、ドイツに産し、デンマーク、オランダ、イギリスの北海沿岸でも見つかった。		343: Baltic amber			実際には、宝石加工の屑や下等品のアンバーを乾留して褐色の粗オイル(Crude amber oil)を得る。			
	182.50: Ambergis	Appendix I: Ambergis	2049: Ambergis tincture					
	182.10: Ambrette seed 182.20: Ambrette (seed)	1: Ambrette	2050: Ambrette seed absolute 2051: Ambrette seed oil 2052: Ambrette tincture					
通常蒸煮して用いられるが、乾物(スルメ)も同様に用いられる。								イカスミ色素(着色料)
						全草は成分本質(原材料)が専ら医薬品	インヨウカク/イカリソウ	
						全草は成分本質(原材料)が専ら医薬品	トウシンソウ/イ/イグサ/Juncus effusus	
Kluyveromyces fragilis (= Saccharomyces fragilis)、Candida utilis (= Tolura utilis) を用いることがある。また、培養液を用いることもある。								
						根茎は成分本質(原材料)が専ら医薬品	コジョウコン	
		202: Strawberry 203: Wild strawberry						ストロベリー色素、果汁[ストロベリー果汁](着色料)
		55: Strawberry tree, cane apple tree						
世界的に栽培されている園芸果樹であり、カプリ、スルミナ、サンペドロ、ミッションなど多くの系統がある。		198: Fig tree						
								ヘゴ・イチヨウ抽出物(酸化防止剤)

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
	○				△	イヌゴマ	Betony	ベトニー	ウッドベトニー	シソ科のウッドベトニー Stachys officinalis(=Betonica officinalis), Stachys paluster 又はその他の Stachys 属	S. officinalis は Wood betony と呼ばれる。S. paluster は Marsh betony と呼ばれる。
	○					イノコヅチ	Inokozuchi			ヒユ科のイノコヅチ Achyranthes japonica Nakai(=A. bidentata Blume var. japonica Miquel)	A. japonica はヒカゲイノコヅチ又はフシダカとも呼ばれる。
	○					イランイラン	Ylang-ylang			バンレイシ科のイランイランノキ Canangium odoratum Safford(=Cananga odorata(Lamarck) J. D. Hooker and Thomson; Uvaria odrata Lamarck)	C. odoratum は Cananga 又は Cananga ylang-ylang と呼ばれる。
	○					イワオウギ	Iwaohgi			マメ科のイワオウギ Hedysarum vicioides Turczaninow(=H. esculentum Ledebour)	
	○					インペラリア	Imperatoria			セリ科の Peucedanum ostruthium Koch(=Imperatoria ostruthium Linne)	P. ostruthium は Masterwort と呼ばれる。
	○					インモルテル	Immortelle, Everlasting flower			キク科の Helichrysum angustifolium de Candolle 又は H. arenarium Moench	
	○				△	ウィンターグリーン	Wintergreen		ヒメコウジ	ツツジ科のヒメコウジ Gaultheria procumbens Linne	G. procumbens は Winter berry, Tea-berry, Box berry などとも呼ばれる。
ヨウサイ	○				○	ウォータークレス	Water cress	オランダガラシ	クレソン	アブラナ科のオランダガラシ Nasturtium officinale Robert Brown (=Rorippa nasturtium-aquaticum (Linne) Hayek)	N. officinale はクレソン、又は Brown cress と呼ばれる。
	○				△	ウコギ	Ukogi		ヒメウコギ	ウコギ科のウコギ Acanthopanax sieboldianus Miquel (=A. gracilistylus W. W. Smith; A. pentaphyllum (Sieb. et Zucc.) Marchal)及びその他の Acanthopanax 属(別掲のエレウテロコックを除く)	A. sieboldianus はヒメウコギとも呼ばれる。
	○				△	ウコン	Turmeric	ターメリック		ショウガ科のウコン Curcuma longa Linne (=C. domestica Valet.)又はその他近縁植物	
	○					ウスバサイシン	Usubasaishin			ウマノスズクサ科のサイシン Asiasarum sieboldi (Miquel) F. Maekawa (=Asarum sieboldi Miquel)及びその他近縁植物	A. sieboldi はウスバサイシンとも呼ばれる。
	○				△	ウッドラフ	Woodruff	クルマバソウ		アカネ科のクルマバソウ Asperula odorata Linne	A. odorata は Sweet woodruff 又は Waldmeister tea と呼ばれる。
水産物	○				○	ウニ	Sea urchin		オオバフンウニ	バフンウニ科のオオバフンウニ Strongylocentrotus droebachiensis(O. F. Muller)その他	
	○				○	ウメ	Ume, Japanese apricot		ウバイ	バラ科のウメ Prunus mume Siebold et Zuccarini	
チャ	○				○	ウーロンチャ	Oolong tea			ツバキ科のチャ Camellia sinensis O. Kuntze (=Thea sinensis Linne)	

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
		87: Wood betony						
						根は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ゴシツ/イノコヅチ/ヒナタイノコヅチ	
	182.20: Cananga	103: Cananga ylang-ylang	2232: Cananga oil 3119: Ylang ylang oil	(1):原料のイランイラン中には Safrole が含有されることがあるので、資料2を参照。				
	172.510: Imperatoria	327: Masterwort						
	182.20: Immortelle	225: Everlasting flower	2592: Immortelle extract					
精油を冬緑油と呼ぶ。		211: Wintergreen	3112: Wintergreen Extract 3113: Wintergreen Oil					
		301: Watercress, Browncress						
[原料]の項に挙げた近縁植物としてはC. amada Roxburgh: Mango-ginger, C. aromatica Salisbury: キョウオウ、ハルウコン、Yellow zedoary, C. xanthorrhiza Roxburgh: クスリウコン、などがある。	182.10: Turmeric 182.20: Turmeric	163: Turmeric	3085: Turmeric 3086: Turmeric extract 3087: Turmeric oleoresin					ウコン(着色料)、ウコン色素(着色料)
[原料]の項に挙げた近縁植物としてはA. heterotropoides F. Maekawa var. mandshuricum F. Maekawa: ケイリンサイシン、A. heterotropoides var. seoulense F. Maekawa: ウスゲサイシン、A. dimidiatum F. Maekawa: クロフネサイシンなどがある。				(1): ウスバサイシンには Safrole が含有されることがあるので資料2を参照。		全草は成分本質(原材料)が専ら医薬品	サイシン/ウスバサイシン/ケイリンサイシン	
	172.510: Woodruff, sweet	77: Woodruff		(1):原料の Woodruff には coumarin が含有されることがあるので資料2を参照。 (2): CFR(FDA)では Sweet Woodruff の使用をアルコール性飲料用のみに制限している。				
茶を製造法から大別すると不発酵茶(緑茶、煎茶など)、半発酵茶(ウーロン茶、包種茶、プーアル茶など)、発酵茶(紅茶)に分類できる。基原物質名のウーロン茶は半発酵茶に属するウーロン茶、包種茶、プーアル茶などを含むものである。	182.20: Tea							チャ抽出物(酸化防止剤、製造用剤)

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
	○				○	エゴマ	Egoma			シソ科のエゴマ <i>Perilla frutescens</i> (Linne) Britton (=P. frutescens var. frutescens; P. frutescens var. japonica Hara)	P. frutescens は Beef-stake plant と呼ばれる。
キノコ	○				○	エノキダケ	Enokidake			キシメジ科のエノキダケ <i>Flammulina velutipes</i> (Curtis: Fr.) Karsten (=Collybia velutipes (Curtis: Fr.) Kumm.)	F. velutipes は Winter Mushroom と呼ばれる。
水産物		○			○	エビ	Lobster, Prawn, Shrimp		ロブスター イセエビ クルマエビ シバエビ サクラエビ アキアミ	イセエビ科のイセエビ <i>Panulirus japonicus</i> (Von.Siebold) など、クルマエビ科のクルマエビ <i>Penaeus (Melicertus) japonicus</i> Bate、シバエビ <i>Metapenaeus joyneri</i> Miers など、サクラエビ科のサクラエビ <i>Sergia lucens</i> (Hansen) など、アミ科のアキアミ <i>Acetes japonicus</i> Kishinouye など	
	○				○	エビスグサ	Ebisugusa		ケツメイシ ケツメイヨウ エビスグサモドキ	マメ科のエビスグサ <i>Cassia obtusifolia</i> Linne 及びエビスグサモドキ <i>C. tora</i> Linne	
	○				△	エリゲロン	Erigeron		ヒメムカシヨモギ	キク科のヒメムカシヨモギ <i>Erigeron canadensis</i> Linne	E. canadensis は Canadian butter-weed 又は Fleabane と呼ばれる。
	○				△	エルダー	Elder	セイヨウニワトコ	ニワトコ	スイカズラ科のアメリカニワトコ <i>Sambucus canadensis</i> Linne、セイヨウニワトコ <i>S. nigra</i> Linne、又はニワトコ <i>S. sieboldiana</i> Blume ex Gaertner (=S. racemosa Linne subsp. <i>Sieboldiana</i> (Miquel) Hara)	S. canadensis は American elder, Sweet elder と呼ばれる。S. nigra は European elder, Common elder、又は Black elder と呼ばれる。S. sieboldiana は European red elder と呼ばれる。
	○					エレウテロコック	Eleutherococcus		エゾウコギ シゴカ シベリアニンジン	ウコギ科のエゾウコギ <i>Acanthopanax senticosus</i> Harms	
	○					エレカンベン	Elecampane			キク科のオオグルマ <i>Inula helenium</i> Linne(=Helenium grandiflorum Gilibert)	I. helenium は Horse-heal 又は Yellow starwort と呼ばれる。
	○					エレミ	Elemi		マニラエレミ カナリヤノキ	カンラン科のマニラエレミ <i>Canarium luzonicum</i> A. Gray 及びカナリヤノキ <i>C. indicum</i> Linne(=C. commune Linne)	C.luzonicum は Pili nut, Manila elemi 又は Elemi canary tree と呼ばれる。C.indicum は Kenari-nut tree と呼ばれる。
	○					エングサク	Engosaku			ケシ科の <i>Corydalis turtschaninowii</i> Besser forma <i>yanhusuo</i> Y.H. Chou et C.C. Hsu(=C. bulbosa de Candolle)又はその他近縁植物	
	○					エンジュ	Enju, Japanese-pagoda-tree		カイヨウ	マメ科のエンジュ <i>Sophora japonica</i> Linne(=Styphnolobium japonicum(Linne)Schott)	
ヨウサイ	○				○	エンダイブ	Endive	キクヂシャ		キク科のキクヂシャ <i>Cichorium endivia</i> Linne	S. japonica は Chinese Scholar-Tree と呼ばれる。

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
					シソ科の1年草青 ジソに似ている が、多数の葉粒 大の種子が実り、 約40%の油脂を 含有する。荳油と 称し乾性油の代 表的油脂である。			
					現在市販されて いるエノキダケは おがくずを用いた 瓶栽培(もやし状) が主体で、ほだ木 栽培(ナメコ様)も 行われている。			
					エビ抽出物の呈 味は Glycine、 Proline などのアミ ノ酸が主である。			
牧野図鑑ではエビスグサ (<i>C.obtusifolia</i>)の別名をロッカ クソウとしており、有用事典で は <i>C.tora</i> をエビスグサ(別名 ロッカクソウ)としている。								
	172.510: Erigeron	181: Canadian butter-weed	2409: Fleabane oil					
	172.510: Elder tree leaves	416: Elder 417: Black elder	2406: Elder flowers oil	(1): Black elder に は胃酸が含まれ ることがあるの で、資料2を参 照。 (2): CFR(FDA)で は、Elder tree leaves の使用を アルコール性飲 料用のみに制限 し、フレーバー中 に胃酸25ppm以 下と規制してい る。				エルダーベ リー色素(着色 料)、果汁[エ ルダーベリー 果汁](着色 料)
	172.510: Elecampane rhizome and roots	240: Elecampane		(2): CFR(FDA)で は Elecampane rhizome and roots の根茎と根の使 用をアルコール性 飲料用のみに制 限している。		根は成分本質 (原材料)が専 ら医薬品	ドモッコウ/オ オグルマ	
	172.510: Elemi	104: Elemi	2407: Elemi resinoid 2408: Elemi oil 2408: Elemi extract 2408: Elemi resinoid					エレミ樹脂(増 粘安定剤、ガ ムベース)
[原料]の項に挙げた近縁植物 としては <i>C. lineariloba</i> Siebold et Zuccarini var. <i>lineariloba</i> : ヤブ エンゴサク、ヤマエンゴサク <i>C. ambigua</i> Chamisso et Schlechtendal: エゾエンゴサク <i>C. decumbens</i> (Thunberg) Persoon: ジロボウエンゴサク <i>C. temata</i> Nakai 等がある。 尚、エンゴサクはこの類一般の 漢名である。エゾエンゴサクは エンゴサクとも呼ばれる。						塊茎は成分本 質(原材料)が 専ら医薬品	エンゴサク/エ ゾエンゴサク	
						花・花蕾・果実 は成分本質 (原材料)が専 ら医薬品	エンジュ/カイ カ/カイカク	ルチン(抽出 物)[エンジュ 抽出物](酸化 防止剤、着色 料)

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
	○					欧州アザミ	Blessed thistle		サントリソウ キバナアザミ	キク科のサントリソウ <i>Cnicus benedictus</i> Linne(= <i>Centaurea benedicta</i> Linne; <i>Carduus benedictus</i> (Linne)Authors)	<i>C. benedictus</i> は Holy thistle とも呼ばれる。
	○					オウレン	Goldthread			キンボウゲ科のオウレン <i>Coptis japonicus</i> (Thunberg) Makino var. <i>japonicus</i> , <i>C. chinensis</i> Franchet 又は <i>C. teeta</i> Wallich	
	○					オオアザミ	Milk thistle		マリアアザミ	キク科のオオアザミ <i>Silybum marianum</i> Gaertner(= <i>Carduus marianus</i>)	<i>S. marianum</i> は Holy thistle、Milk thistle 又は Marian thistle と呼ばれる。
	○				△	オオバコ	Plantain	ブランテン	シャゼンシ シャゼンソウ シャゼンヨウ ヘラオオバコ	オオバコ科のヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i> Linne 又はオオバコ <i>Plantago asiatica</i> Linne	<i>P. lanceolata</i> は Small plantain 又は Rib-wort plantain と呼ばれる。 <i>P. asiatica</i> は Common plantain と呼ばれる。
	○					オカゼリ	Cnidium fruit		ジャシヨウシ	セリ科の <i>Cnidium monnieri</i> (Linne) Cusson	
水産物		○			○	オキアミ	Krill		ナンキョクオキアミ	オキアミ科のナンキョクオキアミ <i>Euphausia superba</i> Dana 又はその他近縁動物	
	○					オーク	Oak		カシワ	ブナ科のカシワ <i>Quercus dentata</i> Thunberg 又はその他近縁植物	<i>Q. dentata</i> は Daimyo oak と呼ばれる。
	○					オークモス	Oak moss		ツノマタゴケ	サルオガセ科のツノマタゴケ <i>Evernia prunastri</i> (Linne) Acharius, <i>E. furfuracea</i> Linne 又はその他 <i>Evernia</i> 属	
	○				△	オケラ	Okera			キク科のオケラ <i>Atractylodes japonica</i> Koidzumi et Kitamura(= <i>A. lyrata</i> Siebold et Zuccarini) 又はその他近縁植物	
	○					オスマンサス	Osmanthus	モクセイ	キンモクセイ	モクセイ科のギンモクセイ <i>Osmanthus fragrans</i> Loureiro(= <i>O. fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i>) またはその他近縁植物	
	○					オポナックス	Opopanax			セリ科の <i>Opopanax chironium</i> Koch、又はカンラン科の <i>Commiphora erythraea</i> Engler var. <i>glabrescens</i> 又は <i>C. erythraea</i> Engler var. <i>Liabrescens</i>	<i>O. chironium</i> は、Opopanax 又は Bisabolmyrrh と呼ばれる。
	○					オミナエシ	Ominaeshi		女郎花 男郎花 ハイシヨウ Patrinia scabiosaefolia	オミナエシ科のオミナエシ <i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fischer ex Link 及びオトコエシ <i>P. villosa</i> Jussieu	

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
	172.510: Thistle, blessed (holy thistle)	144: Holy thistle		(2): CFR(FDA)では Thistle, blessed (holy thistle)の使用をアルコール性飲料用のみに制限している。				
		153: Gold thread		(1): オウレンには Berberine が含有されることがあるので、資料2を参照。		根茎・ひげ根は成分本質(原材料)が専ら医薬品	オウレン/キクバオウレン	
		352: Small plantain						
						果実・茎・葉は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ジャショウ	
〔原料〕の項に挙げた近縁植物としては ツノナシオキアミ E. pacifica Hansen, E. valleritini, E. triacantha, E. frigida, E. crystallorophias, Thysanoessa macrura, T. vicina がある。								オキアミ色素(着色料)
〔原料〕の項に挙げた近縁植物としてはQ. pendunculata (=Q. robur Linne): English oak, Common oak, Q. ilex Linne: Holm oak, Holly oak, Q. agrifolia Nee: Coast live oak, Q. alba Linne: White oak, ホワイトオーク, Q. suber Linne: Cork oak, コルクガンなどがある。	172.510: Cork, oak; Oak, English, wood; Oak white, chips	388: White oak 389: Holm oak 390: Common red oak	2794: Oak chips extract	(2): CFR(FDA)では Cork, oak 及び Oak, English, wood の使用をアルコール性飲料用のみに制限している。				くん液(製造用剤)
	172.510: Oakmoss	194: Oakmoss	2795: Oakmoss absolute	(1): オークモスには thujones (α - and β -) が含有されていることがあるので、資料2を参照。 (2): CFR(FDA)ではオークモス(Oakmoss)について、最終食品に thujone が検出されてはならないと規制している。				
〔原料〕の項に挙げた近縁植物としては A.lancea de Candolle: ホソバナオケラ A.lancea de Candolle var. chinensis Kitamura: シナオケラ A.ovata de Candolle (=A.macrocephala Koidzumi): オオバナオケラ などがある。						根茎は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ビャクジュツ/オオバナオケラ/オケラ	
原料の項の補足説明 その他近縁植物としては、O. fragrans Lour. の変種である; O. fragrans Lour. var. aurantiacus Makino: キンモクセイ O. fragrans Lour. var. thunbergii Makino: ウスギモクセイなどがある。			3750: Osmanthus absolute					
	172.510: Opopanax (bisabolmyrrh)	313: Opopanax						

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
コンサイ	○				○	オモダカ	Sagiomodaka		クワイ ホソバオモダカ	オモダカ科のオモダカ <i>Sagittaria trifolia</i> Linne その近縁植物	
	○				△	オランダセンニチ	Para cress		ハトウガラシ	キク科のオランダセンニチ <i>Spilanthes acmella</i> Linne var. <i>oleracea</i> Clarke その他近縁植物	<i>S. acmella</i> は、Jambu 又は Brazil cress とも呼ばれる。
	○				△	オリガナム	Origanum		オレガノ	シソ科の <i>Origanum vulgare</i> Linne 又はその他 <i>Origanum</i> 属、又は <i>Lippia</i> 属	<i>O. vulgare</i> はオレガノ、Wild marjoram、Oregano 又は Marjoram pot とも呼ばれる。
	○					オリス	Orris		イリス ドイツアヤメ	アヤメ科のドイツアヤメ <i>Iris germanica</i> Linne、 <i>I. pallida</i> Lamarck 又は <i>I. foetidissima</i> Linne	<i>I. germanica</i> は German Iris 又は German flag と呼ばれる。 <i>I. pallida</i> は Pale flag と呼ばれる。 <i>I. foetidissima</i> は Stinking iris gladdon と呼ばれる。
	○					オリバナム	Olibanum	乳香	ニューコウジュ インド乳香	カンラン科のニューコウジュ <i>Boswellia carterii</i> Birdw. 及びその他の <i>Boswellia</i> 属	<i>B. carterii</i> は、Bible frankincense と呼ばれ、その樹脂を Frankincense 又は Olibanum と呼ぶ。
	○				○	オリーブ	Olive		オリーブ油 オレイフ	モクセイ科のオリーブ <i>Olea europaea</i> Linne	<i>O. europaea</i> は Olive tree と呼ばれ、その果実を Olive と呼ぶ。
	○				△	オールスパイス	Allspice		ピメンタ、ピメント	フトモモ科のピメント <i>Pimenta dioica</i> Merrill (= <i>Pimenta officinalis</i> Lindley; <i>Myrtus pimenta</i> Linne)	<i>Pimenta dioica</i> は Pimento 又は Pimenta とも呼ばれる。
カンキツ	○				○	オレンジ	Orange		ダイダイ(実) ビターオレンジ (実) アマダイダイ 又はダイダイ スイートオレンジ パレンシアオレンジ オレンジピール	ミカン科のアマダイダイ <i>Citrus sinensis</i> Osbeck (= <i>C. aurantiaca</i> Linne var. <i>sinensis</i> Linne) 又はダイダイ <i>C. aurantium</i> Linne	<i>C. sinensis</i> はスイートオレンジ又は Sweet orange とも呼ばれる。 <i>C. aurantium</i> は Sour orange 又は Bitter orange と呼ばれる。

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
[原料]の項の補足説明の項に挙げた近縁植物としては、S. trifolia L. var. forma longiloba Makino: ホソバオモダカ、S. trifolia L. var. edulis Ohwi (= S. trifolia var. sinensis (Sims) Makino; S. sagittifolia L.): クワイ(シログワイ)、Alisma plantago-aquatica Linne var. orientale Samuelsson (= Alisma orientale Juzepczuk): サジオモダカがある。						塊茎は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ヘラオモダカ/タクシャ(サジオモダカ)	
[原料]の項の補足説明の項に挙げた近縁植物としては、キバナオランダセンニチ及びセンニチモドキがあるが、オランダセンニチも含めこれら3種の基原植物の分類については、引用文献によってその学名又は和名に違いがみられる。オランダセンニチもキバナオランダセンニチもハトウガラシとも呼ばれる。			3783: Jambu oleoresin					
O. vulgare L. はハナハツカと呼ばれることもある。ハナハツカ Majorana hortensis Moench とは本来異なるスパイスであるが、植物学上及び商業上かなり混乱がみられる。また、英名 Origan (CE 317) 及び Origanum (FEMA 2828) は Thymus 属である。「マジョラム」を参照。	182.10: Oregano(oreganum, Mexican oregano, Mexican sage, origan) 182.20: Origanum	317: Wild marjoram 454: Origan	2660: Marjoram pot 2827: Oregano 2828: Origanum oil(extractive)					オレガノ抽出物(製造用剤)
文献によっては、I. germanica L. と I. florentina L. は別種とし、前者をドイツアム、後者をニオイイリス(Orris 又は white flag と呼ばれる)を当てているが、I. florentina は I. germanica var. florentina のシノニムとする文献もある。	172.510: Orris root	241: Orris 242: Stinking iris gladdon 243: German flag 244: Pale flag	2829: Orris concrete liquid oil 2830: Orris root extract			根茎は成分本質(原材料)が専ら医薬品	イリス	
	172.510: Olibanum	93: Olibanum	2816: Olibanum oil			全木(ボスウェリア・セラータの樹脂を除く)は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ボスウェリア属/ニューウコウ/Boswellia属	ニューウコウ(ガムベース)
		309: Olive tree						オリーブ茶(着色料、苦味料等)
	182.10: Allspice 182.20: Allspice	335: Pimento; Allspice	2017: Allspice 2018: Allspice oil; Pimenta; Pimenta oil 2019: Allspice oleoresin 2901: Pimento leaf oil					ピメント抽出物(酸化防止剤)
Valencia orange は、スイートオレンジの1品種である。	182.20: Orange, sweet; Orange, sweet, peel; Orange, bitter, peel	136: Neroli; Bitter orange 143: Sweet orange	2344: Curacao peel extract 2345: Curacao peel oil 2820: Orange leaf absolute 2821: Orange oil distilled 2822: Orange oil, terpeneless 2824: Orange peel extract, sweet 2825: Orange oil, sweet cold pressed 2826: Orange peel oil, sweet, terpeneless 2823: Orange peel oil, bitter 3823: Daidai peel oil					オレンジ色素(既存添加物)、果汁[オレンジ果汁](着色料)

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
カンキツ	○					オレンジフラワー	Orange flower		ベルガモット レモン マンダリンなど ネロリ ビターオレンジ ダイダイ、 アマダイダイ 又はその他 Citrus 属の花	ミカン科のダイダイ Citrus aurantium Linne、 アマダイダイ Citrus sinensis (L.) Osbeck 又はその他 Citrus 属	
水産物		○			○	カイ	Shellfish	貝		マルスダレガイ科のハマグリ Meretrix lusoria (Roding)、アサリ Tapes (Amygdala) japonica (Deshayes)、ヒメアサリ Tapes (Amygdala) variegata (Sowerby) など、シジミガイ科のマシジミ Corbicula (Corbiculina) leana Prime、ヤマトシジミ Corbicula japonica Prime、セタシジミ Corbicula sandai Reinhardt など、イタヤガイ科のホタテガイ Patinopecten yessoensis (Jay) など、イタボガキ科のイタボガキ Ostrea denselamellosa Lischke、マガキ Crassostrea gigas (Thunberg) など、ミミガイ科のメカイアワビ Notohaliotis sieboldi (Reeve)、クロアワビ Notohaliotis discus (Reeve)、マダカアワビ Notohaliotis gigantea (Gmelin)、トコブシ Sulculus supertexta (Lischke) など、リュウテン科のサザエ Turbo (Batillus) cornutus Solander など	
カイソウ	○				○	海藻	Seaweed	シーウイード 海草	コンブ、ノリ、カイニンソウは除く	コンブ科のワカメ Undaria pinnatifida (Harvey) Suringar、アラメ Eiseniacyclis Setchell、オオウキモ Macrocyctis pyrifera (Linne) Agardh、アントクメ Eckloniopsis radicata Okamura など、ホンダワラ科のホンダワラ Sargassum fulvellum J. Agardh、ヒジキ Hizikia fusiformis Okamura など、テングサ科のテングサ Gelidium amansii Lamouroux など、ミル科のミル Codium fragile Hariot など、マサゴシバリ科のダルス Rhodymenia palmata Greville (= Palmaria palmata (Linne) O. Kuntze) など、ヒバマタ科のヒバマタ Fucus evanescens C. Agardh など、アミハダ科のアカバギナンソウ Rhodoglossum pulcherum Setchell et Gardener (= Iridaea pulchra Kutz.) など、フジマツモ科のオオソノ Laurencia paniculata J. Ag. などの海藻(ただし、別掲のコンブ及びノリを除く)	M. pyrifera は Giant kelp と呼ばれる。U. pinnatifida, E. bicyclis, M. pyrifera 及び H. fusiformis は Brown algae と呼ばれる。G. amansii はマクサとも呼ばれる。C. fragile は Dichotomous sponge tang と呼ばれる。Rhodymenia 属は Red algae と呼ばれ、そのうち R. palmata は Dulse 又は Grannogh と呼ばれる。
カイソウ	○					カイニンソウ	Kaininso		マクリ	フジマツモ科のマクリ Digenea simplex (Wulfen) G. Agardh	
	○				○	カカオ	Cacao	ココア		アオギリ科のカカオ Theobroma cacao Linne	T. cacao はココアノキ、Cacao 又は Cocoa tree と呼ばれる。
	○				○	カキ	Japanese persimmon	柿		カキノキ科のカキ Diospyros kaki Thunberg	D. kaki は Kaki と呼ばれる。
カサイ	○				○	カサイ	Fruit vegetables	果菜	ウリ科のカボチャ、セイヨウカボチャ、マクワウリ、ニガウリ、トウガンなど、ナス科のナス、シシトウガラシ、キダチトウガラシなど、アオイ科のアメリカネリなど	ウリ科のカボチャ Cucurbita moschata Duchesne ex Poiret、セイヨウカボチャ Cucurbita maxima Duchesne、マクワウリ Cucumis melo Linne var. makuwa Makino、ニガウリ Momordica charantia Linne、トウガン Benincasa cerifera Savi など、ナス科のナス Solanum melongena Linne、シシトウガラシ Capsicum annum Linne var. grossum Sendtner (= C. grossum Linne)、キダチトウガラシ Capsicum frutescens Linne など、アオイ科のアメリカネリ Abelmoschus esculentus Moench (= Hibiscus esculentus Linne) など	Cucurbita moschata は Winter crockneck squash 又は Cushaw と呼ばれる。Cucurbita maxima は Squash と呼ばれる。M. charantia は ツルレイシ 又は Balm pear と呼ばれる。B. cerifera はカモウリとも呼ばれる。S. melongena は Eggplant 又は Aunergine と呼ばれる。Capsicum annum var. grossum はピーマン、Sweet pepper, Paprika, Red pepper と呼ばれる。A. esculentus は オクラ、Gumbo, Gombo 又は Okra と呼ばれる。
ナッツ	○				○	カシューナッツ	Cashew nut		カシューナット	ウルシ科のカシューナットノキ Anacardium occidentale Linne	A. occidentale は、カシューナット、Cashew nut 又は Cashew と呼ばれる。
	○					カスカラ	Cascara		クロウメモドキ	クロウメモドキ科の Rhamnus purshiana de Candolle、R. cathartica Linne 又は R. frangula Linne	R. purshiana は Cascara sagrada 又は Sacred bark tree と呼ばれ、R. cathartica は Buckthorn と呼ばれ、R. frangula は Alder buchthorn と呼ばれる。
	○					カスカリラ	Cascarilla			トウダイグサ科のカスカリラノキ Croton eluteria Bennet、C. cascarrilla Bennet 又はその他 Croton 属	C. eluteria は Cascarilla と呼ばれる。

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
本項に挙げた近縁植物としては、 <i>C. aurantium</i> L. ssp. bergamia (Riss.& Poiteau) Engl.:ベルガモット、 <i>C. limonum</i> (L.) N. L. Burman:レモン、 <i>C. reticulata</i> blanco:マンダリンなどがある。 <i>C. aurantium</i> L.の花から水蒸気蒸留で得られた精油は、Oil of Neroli 又は Neroli bigarade oil と呼ばれる。	182.20: Orange sweet, flowers; Orange bitter, flowers	136: Neroli; Bitter orange 137: Bergamot 139: Lemon 142 : Mandarin 143: Sweet orange	2771: Neroli bigarade oil 2818: Orange flower absolute 2819: Orange flowers					
本項に挙げた基原植物以外に褐藻類(brown algae)あるいは紅藻類(red algae)など多種の海藻がある。	184.10120: Brown algae 184.10121: Red algae 184.10115: Agar	212: Agar-agar	2014: Algin 2405: Dulce 2606: Kelp 2012: Agar					海藻灰抽出物(製造用剤)、海藻セルロース(増粘安定剤)、褐藻抽出物(増粘安定剤)、寒天(製造用剤)
						全薬は成分本質(原材料)が専ら医薬品	マクリ	
ココアやチョコレートなどの原料となる。	182.20: Cacao	452: Cocoa tree						カカオ色素(着色料)、カカオ炭末色素(着色料)、ココア(着色料)
		177: Kaki						カキ色素(着色料)、カキタンニン(製造用剤)
			2233: Capsicum extract 2234: Capsicum oleoresin 2833: Paprika 2834: Paprika oleoresin 2849: Pepper, red					
		34: Cashew nut; Cashew						
	172.510: Cascara sagrada	393: Buckthorn 394: Alder buckthorn 395: Sacred bark tree	2253: Cascara, bitterless, extract			果実成分本質(原材料)が専ら医薬品	クロウメドキ属/ ソリシ /Rhamnus属	
	182.20: Cascarilla bark	158: Cascarilla	2254: Cascarilla bark extract 2255: Cascarilla bark oil					

系統	分類					品名	英名	表示のための別名	実態調査のための別名	原料	原料シノニム
	植物性	動物性	加工品	混合品	一般食品						
		○				カストリウム	Castoreum	海狸香	ビーバー	ビーバー科のビーバー Castor fiber Linne 又は Castor canadensis Kuhl.	肛門腺分泌物を Castor 又は Castoreum と呼ぶ。
	○				○	カタクリ	Katakuri			ユリ科のカタクリ Erythronium japonicum Decaisne	
水産物			○		○	カツオブシ	Dried bonito		サバ科のカツオ又はその他のサバ科、アジ科、イワシ科、ニシン科の魚の燻乾品/かつお節	サバ科のカツオ Katsuwonus pelamis Linne 又はその他のサバ科、アジ科、イワシ科、ニシン科の魚の燻乾品	
	○					カッシー	Cassie		キンゴウカン	マメ科のキンゴウカン Acacia farnesiana Willdenow	A. farnesiana は Acacia, Sweet acasia 又は Real acacia と呼ばれる。
	○					カッシャフィスチュラ	Purging cassia		ナンパンサイカチ	マメ科の Cassia fistula Linne	C. fistula は Golden shower 又は Casse と呼ばれる。
	○					カテキュ	Catechu		アセンヤクノキ	マメ科のアセンヤクノキ Acacia catechu Willdenow(= Mimosa catechu Linne, f.)	A. catechu は Cutch tree, Catechu fir 又は Black catechu と呼ばれる。
水産物			○		○	カニ	Crab		クラブケガニ ズワイガニ マツバガニ ガザミ ワタリガニ ワタリイシガニ サワガニ	タラバガニ科のタラバガニ Paralithodes camtschaticus Tilesius など、クリガニ科のケガニ Erimacrus isenbeckii Brandt など、クモガニ科のズワイガニ Chionoecetes opilio O. Fabricius, マツバガニ(ズワイガニの雄体)など、ワタリガニ科のガザミ Portunus (Portunus) trituberculatus(Miers), ワタリガニ (ガザミの1種), ワタリイシガニ Charybdis natator Herbst など、サワガニ科のサワガニ Geothelphusa dehaani(White) などの食用ガニ	
	○					カーネーション	Carnation		オランダセキテク	ナデシコ科のカーネーション Dianthus caryophyllus Linne	D. caryophyllus はオランダセキテク, Gillyflower, Clove pink 又は Picotee と呼ばれる。
	○					カノコソウ	Valerian		吉草 バレリアン セイヨウカノコソウ キソソウコン ワレリア	オミナエシ科のカノコソウ Valeriana sambucifolia Mikan f. var. fauriei Hara(= V. fauriei Briquet)及び セイヨウカノコソウ V. officinalis Linne	V. officinalis は, Valerian, Common valerian 又は Garden heliotrope と呼ばれる。
	○				△	カモミル	Camomile		カミツレ カミルレ ローマカミルレ カモミール ジャーマンカモミル	キク科のローマカミルレ Anthemis nobilis Linne, カミルレ Matricaria chamomilla Linne(= Chamomilla recutita (Linne.) Rauschert; Chamomilla officinalis Koch)又は Ormenis multicaulis	A. nobilis は, ローマカミツレ, English camomile 又は Roman camomile と呼ばれる。M. chamomilla は, カミツレ, Chamomille, German chamomile 又は Hungarian camomile と呼ばれる。
	○				△	カヤブテ	Cajeput, Cajuput		カユブテ	フトモモ科のカユブテ Melaleuca leucadendron Linne(=Melaleuca cajuputi powell) 又はその近縁植物	M. leucadendron は Cajuput oil tree, Cajeput と呼ばれる。
	○					カラクサケマン	Fumitory			ケシ科の Fumaria officinalis Linne	F. officinalis は Earthy Smoke と呼ばれる。
	○				△	カラシ	Mustard	マスタード	クロガラシ シロガラシ カラシナ ワイルドシャローック	アブラナ科のクロガラシ Brassica nigra Koch(=Sinapis nigra Linne; S. erysimoides Roxburg)又はその他 Brassica 属	B. nigra は Black mustard 又は True mustard と呼ばれる。その他 Brassica 属としては、シロガラシ(White mustard, Yellow mustard) B. hirta Moench(=B. alba (Linne) Rabenh; S. alba L.), カラシナ(Indian mustard, Brown mustard) B. juncea Cosson(= S. juncea Linne; S. cernua Thunberg), ワイルドシャローック(Black mustard) S. arvensis Linne などがある。
	○				△	カラスウリ	Karasuuri		カロニン	ウリ科のカラスウリ Trichosanthes cucumeroides Maximowicz, キカラスウリ Trichosanthes kirilowii Maximowicz var. japonica (Miquel) Kitamura(= T. japonica Regel)又はオオカラスウリ T. bracteata Viogt	
	○					カラスビシャク	Karasubishaku, Dragon root		オオハング	サトイモ科のカラスビシャク Pinellia ternata (Thunberg) Tenore ex Brettenb.又はオオハング P. tripartita (Blume) Schott	P. ternata は Dragon root と呼ばれる。
	○					カラバッシュナツメグ	Calabash nutmeg		ジャマイカナツメグ ジャマイカニクス	パンレイシ科の Monodora myristica Dunal 又は M. angolensis Welwitsch	M. myristica は Calabash nutmeg, African nutmeg と呼ばれる。

参考事項 原料の補足	CFR	CE	FEMA	留意事項	参考事項 その他	食薬区分	食薬名称	他の添加物用途
	182.50: Castoreum	Appendix I : Castor	2261: Castoreum extract 2262: Castoreum liquid					
	172.510: Cassie flowers	8: Real acacia	2260: Cassie absolute					
		115: Purging cassia; Casse						
	172.510: Catechu, black	6: Catechu fir	2264: Catechu extract 2265: Catechu powder					
								カニ色素(着色料)
		174: Carnation; Gillyflower						
	172.510: Valerian rhizome and roots	473: Valerian	3099: Valerian root extract 3100: Valerian root oil					
	182.10: Camomile(chamomile); English or Roman Camomile(chamomile); German or Hungarian 182.20: Camomile(chamomile) flowers; Hungarian Camomile(chamomile) flowers; Roman or English	48: Camomile 273: Camomile	2272: Chamomile flower, English, oil 2273: Chamomile flower, Hungarian, oil 2274: Chamomile flower, Roman, extract 2275: Chamomile flower, Roman, oil					
[原料]の項に挙げた近縁植物としては M. cajeputi Roxb., M. minor Sm. などがある。	172.510: Cajeput	276: Cajuput oil tree	2225: Melaleuca cajuputi Powell					
		207: Fumitory						
	182.10: Mustard, black or brown; Mustard, brown; Mustard, white or yellow 182.20: Mustard	95: Black mustard 431: White mustard 432: Black Mustard	2760: Mustard brown 2761: Mustard yellow					カラシ抽出物(製造用剤)
						根は成分本質(原材料)が専ら医薬品	カロコン/オオカラスウリ/キカラスウリ/シナカラスウリ	
						塊莖は成分本質(原材料)が専ら医薬品	ハンゲ/カラスビシャク	
		291: Jamaica nutmeg						